

**目的** 前報では韓日女子学生の体型意識の差異について明かにしたが体型意識によって衣服の購買・着装行動に差異が見られると思われる。本報では韓日女子学生の衣服の購買・着装行動との件について調査をもとに明かにする。

**方法** 調査及び分析の方法は第1報と同じである。主な調査項目は、衣服の購買行動に関してはファッション情報源、好きな衣服の素材・色・柄、購買態度、購入場所など、着装行動に関しては、外出時に着用する衣服、衣服による体型カバーの考慮の有無、好きな服装のイメージなどである。

**結果** ファッション情報源については韓国の女子学生は売場の陣列商品から、日本の女子学生は雑誌からと答えた者が多い。好きな色については韓国の女子学生は白と黒、日本の女子学生は黒と青、好きな衣服の柄については韓国の女子学生は抽象柄、日本の女子学生は無地と答えた者が多い。購買態度については韓国の女子学生が流行を重視しバーゲンを利用する者が多く、日本の女子学生はブランドにはあまりこだわらず、自分の好みを重視し数は少なくとも良いものを購入している等、有意な差が見られた。着装行動については、外出時に着用する衣服に、韓国の女子学生はジャケットとパンツと答えた者が多く、日本の女子学生はニットとパンツと答えた者が多い。衣服による体型カバーについては、全般的なスタイルに対して両国の女子学生とも上下の衣服の組み合わせや配色、衣服の丈の長さに気を配るなど、スタイルがよく見えるような工夫をしている。下半身のカバーについても、両国の女子学生ともスカートの丈、スカートの形、靴のデザインに気をつけている。好きな服装のイメージについては特にすっきりした、気軽な、自然なイメージを好んでいる。